

# KARIGANE

かりがね



No  
409

【季刊】かりがね

発行人／社会福祉法人かりがね福祉会  
昭和54年9月26日 第三種郵便物認可  
3.6.9.12月1日発行  
2025年6月1日発行

## Contents

表紙 風の工房 ～新しい仲間～

裏表紙 感謝録・編集後記

理事長あいさつ…………… 1P

総合施設長あいさつ…………… 2P

日中事業所連携会議…………… 3・4P

職務分担表…………… 5P

スタッフリレー通信…………… 6P





# 理想を高く掲げて

「地域の全人生に幸せを」～生成発展によって幸せを拡める地域共同体～



理事長 小林 彰

## 理想を掲げて歩みます

社会福祉法人かりがね福祉会は、旧かりがね学園（現ライフステージかりがね）開所から47年目を迎えています。開所前の設立運動期間の3年間を加えると50年になります。初代園長で運動を牽引された岩見太市氏が提唱した「社会に開かれた施設づくり」は、多くの会員の皆様や地域の皆様、関係機関のご協力やご支援をいただき、徐々に実現しつつあります。

これまでかりがね福祉会は一貫して、理想を求めて歩んできました。障がい分野の法や制度は確実に充実してきていると感じていますが、一方でまだ制度から漏れて困ってしまっている人たちがいるのも事実です。私たちは地域の中にある課題を把握し、少しでも解決に向けて取り組んでいきたいと思っています。それが私たちに課せられた使命だと考えています。

高い理想を掲げてゆっくりではありますが、着実に歩んでいきます。

## 権利擁護を推進していきます

ご利用者様の「幸せ」を達成していくためには権利を守ること（権利擁護）は大切な取り組みです。しかしながら、私たちの日常では権利を守るとはどんなことだか分かりづらいところがあります。かりがね福祉会では毎年「虐待防止研修」があり、その中でご利用者様の権利が侵害されるとはどのようなことなのかを学び、権利を守ることの重要性を身につけるようにしています。権利は守らなくてはなりません、油断をしていると不適切な状況に陥っていきます。いつでもどこでも適切な支援ができるように、自らの言動を検証しながら支援に当たっていきます。

意思決定支援も大切な取り組みです。スタッフや支援関係者が勝手に決めてしまうのではなく、ご本人としっかり相談をして一緒に決めていくことが必要です。どんなに周りではそうしたほうが良いと考えても、「あなたにとって大切なことを決めるのはあなたです」という姿勢を堅持していきます。ご本人では決められないと決めつけるのではなく、どうしたらご本人が決められるのかを探っていく姿勢や過程が大切だと考えています。ご利用者様の意思決定については、ご家族や成年後見人等と相談しながら時間を掛けて、丁寧に取り組んでいきます。

## 地域との関係をより密に

かりがね福祉会はずっと、地域の皆様に支えられてここまで来ました。恵まれた地域だと感じています。私たちも微力ながら地域貢献に取り組んでいます。グリュックの会（恵仁福祉協会アザレアンさなだ、上田市社会福祉協議会真田地区センターと連携）での子ども食堂やにじいろフェスティバルの開催、さなだ支え合い会議（前述の2団体と真田スポーツクラブ、真田の郷まちづくり推進会議と連携）によるおすそ分け会（食品等の配布）やよろず講演会の開催、真田地域清掃ハイキングなどに参加して、より充実した取り組みにしていきます。

これからも、誰もが暮らしやすく、誰もが大切にされる地域づくりに関わっていきます。



# 新しい年度を迎えるにあたり

総合施設長 遠藤 良和



真田の郷を彩る様々な桜の華麗さに心躍る時節となりましたが、ご利用者様、ご家族の皆様、そして、地域の皆様、運営会員の皆様、関係各機関の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当法人の運営につきましては、日頃より格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新年度開始にあたり、以下に重点的に取り組んでまいりたい目標を述べさせていただきます。

## 福祉人財の確保と育成について

福祉の職場で働く人財の確保が極めて重要な課題となって久しい中、幸い今年度も複数名の新規学卒の入職者を迎えることができました。ただ、慢性的な人手不足は業界を問わず今後も続くと思われ、人財育成で中心的な役割を担う主任委員会をベースに、資格取得支援制度や奨学金返済手当制度、事業所の認証制度などのリクルートに有用なツールも含めて法人の仕事の魅力を伝えることで、より多くの方々に興味を持ってもらえるような求人活動を実施していきます。特に昨年度は、現任の若手スタッフのお手本となるような即戦力を含む多数の中途採用の方を確保することができたことから、今年度も多様な働き方の提示も含めて、福祉のみならず様々なフィールドで活躍する方々へのアピールを続けていきたいと思えます。

また、スタッフの育成については、数年来、各事業所のサービス管理責任者などの次世代移行に計画的に取り組んできましたが、今年度も引き続き、次世代若手スタッフに責任が伴う業務を学んでもらう機会を作り将来の担い手を育成するとともに、事業所の安定運営に必要なサービス管理責任者等の有資格者を計画的に確保することで、不測の事態に備えるとともに職員層を厚くしていくための取り組みを続けていきます。

## 重度高齢化への対応・柔軟なサービス提供体制の確保について

各生活事業所で高齢のご利用者様が增加しており、重度高齢化による身体機能の低下、ご病気や障がいの進行など、様々な理由により、事業所の業務や職員体制に大きな変容が迫られており、医療ニーズの増大と介護度の上昇は、マンパワーを確保することと専門性を担保することの双方から、法人全体で考えていかなくてはならない大きな課題となっています。

これまでも法人内の各職種の連携と協働をベースに、安心して生活できる持続可能な支援体制の構築を目指してきましたが、今後はそれに加えて各関係機関や専門家からの意見も参考に様々な支援や暮らしの選択肢を考え、介護保険サービスの活用など、柔軟に外部の必要なサービスを利用できる仕組みも検討していきたいと思えます。

## OIDEYOハウス移転への取り組みについて

災害対策を中心に検討を進めてきたOIDEYOハウスの移転の取り組みですが、日中事業所連携未来プロジェクトでの三年余に渡る検討や意見交換を経て、いよいよ本格的に移転のプロセスに取り組む年度となります。たくさんの候補地の中から、ようやく真田町内に移転用の土地を確保することができ、これから協働を進めていくパートナーとなる設計業者さんとも先般、契約をすることができました。こののちも内部での意見集約を進めるとともに、外部の方達との連絡調整を密にして計画を進めていきたいと思えますので、お力添えをお願いいたします。

今年度も変わらぬご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



# ヤッホー、げんきだった～？

「OIDEYO ハウス」「アトリエ FUU」「風の工房」のご利用者様やスタッフが集まり、「何か」をする「ヤッホーのじかん」。2024 年度から日中事業所連携会議が中心となり企画・運営をしています。

「どんなご利用者様やスタッフがいてどんな活動をしているのか」同じ法人ですが、それぞれの事業所を知る機会は、コロナ禍の影響もあり少なくなっていました。各事業所のご利用者様やスタッフの交流、情報交換、新しい活動のご提案を目的に、「みんなでまず一緒に芝生で遊んでみよう！」と軽やかな気持ちで始まったのが「ヤッホーのじかん」です。

## 合同レク

山村広場の芝生に集まって、バレーボールをしたり、凧あげをしたり、キャッチボールをしたり、思い思いに出来ること、したいことをして体を動かしました。初夏は体育館で「風船バレー大会」を企画。風船バレーだけでなくバスケットやバドミントン、空き缶つみ、など好きなレクを選ぶように準備しました。



## 音あそび

アトリエ FUU では、定期的に「音あそび」を行っていて、OIDEYO ハウスや風の工房からも数名で参加していました。講師として佐々木良太さんに依頼して大きな太鼓などいろいろな楽器に触れあう「音あそび」も開催しました。みんなで輪になり、太鼓をたたいたり楽器を奏でて歌ったり、踊ったり。佐々木さんの柔らかい雰囲気には最初は固く緊張していた空気が最後にはほぐれて、あったかい時間になりました。

## カラオケ

風の工房やアトリエFuuのご利用者様の中には「カラオケをしたい!」という希望を持っている方がいても、カラオケ機がない、機はあるがやりたい人が限定的などでなかなか行えずにいる一方で、OIDEYOハウスでは月1回の工賃日にカラオケをしています。そこで、合同のカラオケ大会を企画しました。1回目は「さなこみ」という真田にあるレンタルスペースで行い、その後、地域の公民館やライフステージかりがねの会議室で実施しています。



## 出張ネイル&メイクサロン

サロンに行くことが出来ない高齢者などの福祉施設に赴き、ネイルを通して爪のケアや心を明るくするリラクゼーションの効果が期待できる「セラピーネイル」という活動を、かりがね福祉会で働いていた元スタッフの方が始めました。そこで、今回出張メイク&ネイルサロンと銘打った企画をしました。一人一人ご利用者様とお話をしながらメイクやネイルを施術し、最後にはいいカメラで写真を撮影し、参加してくれた方に写真をプレゼントしました。

今後も「ヤッホー、久しぶり、げんきだった?」と定期的に会って、挨拶をして、近況を話し合う、そんなワイワイしあえるじかんを企画していけたらと思っています。



## 2025年度

## 職務分担表 (2025年4月1日版)

## 1 かりがね福祉会役員

理事長	小林 彰
副理事長	塚田 弘人
業務執行理事	遠藤 良和
理事	小林 典子
	笠原 茂正
監事	樋口 俊文
評議員	中村 彰
	渡邊 務
	保母 和子
	滝沢 博文
	青木 和男
	横沢 正
	大塚 良治
	千野 祐樹
	山宮 正久
	青木 千浪

## 2 法人本部・事務局

総合施設長・事業部長・人事部長補佐	遠藤 良和
財務部長・人事部長	清水 栄紀
スタッフ	塚田 弘人
	浅川 祐未
	西 由美子
	中村 映舞
	窪田 真保

## 3 医療

主任	平沢世里子 (リーダー)
スタッフ	小林智恵美 (サブリーダー)
	櫻井亜津美
	三浦 佑子
	堀内のり子
	茅野 泉紀
	中村みのり
	(それぞれの配属は、各事業所の記載の通り)

## 4 ライフステージかりがね

管理者 (筆頭)	三井 千愛
管理者	坪田 理
主任	長 竜平
サービス管理責任者	松川美由樹
スタッフ	高寺 稔
	中村 史織
	半田 正直
	高橋 輝男
	志賀 洋子
	倉島 佑介
	久保田 哲
	吉田 美咲
	水沢 勇人
	唐沢 智衣
	小松有加里
	林 真奈未
	小林 漢
	海沼遼太郎
	高遠 勇
	秋山久美子
	篠原 紗衣
	峯村ひかり
	下城 晃
	柏原 伶奈
	清水 健人
	山川 達雄
	若林 光莉
	宮崎 香奈
	東方 恭祐
	佐藤 博則
	橋詰 千果
	豊永多鶴子 (兼務)
	(齋藤めぐみ)
医療	平沢世里子
栄養士	小林智恵美
朝食支援	中村みのり
寄り添い支援	渡辺 早紀
洗濯・清掃	山崎 喜代
	小林 治藏
	関谷 保雄
	若林 智子
	清水まゆみ
	阿部 和美

## 5 かりがね共同生活サポートセンター

管理者	阿部 達也
主任・サービス管理責任者	石坂 千春
サービス管理責任者	堀内 翔一
スタッフ	川又 亮太
	山崎まゆみ
	福原なみ子
	北澤 栄子
	坪田 ゆか
	岡崎 慎一
	佐竹 明
	尾崎としえ
	中村 智絵
	新井 瑞生
	青木 広美
	小室 彰子
	吉橋梨々花
	島寄野乃華
	安藤 正彦
医療	茅野 泉紀
食事支援世話人	(平沢世里子)
	(小林智恵美)
	三井由美子
	加藤由美子
	久保田靖子
	横山 信子
	川島百合子
	清水 千春

## 6 さなだの杜

管理者	工藤 淳
主任	奈良 司
サービス提供責任者 (重度障害者等包括支援)	太田恵里奈
サービス管理責任者 (共同生活援助)	田矢 雄介
(サービス管理責任者) (共同生活援助)	唐沢 郁哉
スタッフ	竹井 達郎
	市村 友一
	森島 優典
	佐々木 崇
	内堀 裕也
	中島花菜子
	堀内 瑛人
	林 明德
	高井 諒
	山崎 春香
	河原 孝幸
	茅野 泉紀
	山本 楓雅
医療	茅野 泉紀
洗濯・清掃	金沢 綾

## 7 在宅支援センターえーる

管理者	荻原 恒平
主任/サービス提供責任者	的場 真
スタッフ	佐藤ひとみ
	佐藤 知里
	大池 聡
	小林 優太
	青木 妙子
	齊藤 絢美
	石巻 愛莉
	牧内 麻美
	樋沢早帆美
	菊池 涼太
	(合原 真矢)

## 8 OIDEYO ハウス

管理者	久保 雅信
主任	堀内 敬祐
サービス管理責任者	脇田加奈恵
スタッフ	北澤 栞
	丸山 貞子
	長谷川亜由美
	平林はるか
	片山 智恵
	大川恵美子
	小林あかり
	春原 浩二
	今川 慶子
	田中 正人
	佐田 芽衣 (兼務)
	日置 栄子 (兼務)
	(花岡 由衣) (堀内 倫佳)
医療	堀内のり子

## 9 アトリエFuu

管理者	山浦 貴志
主任	関谷 浩行
サービス管理責任者	出浦 友里
スタッフ	堀内 文康
	垂見 美雪
	菊地 剛
	加藤 美奈
	清水真紀子
	田矢佳央里
	坂口かりん
	佐田 芽衣 (兼務)
医療	三浦 佑子

## 10 風の工房

管理者	小田切玄和
主任	古平 卓郎
サービス管理責任者	塩崎 都衣
スタッフ	堀内みな美
	伴野 慶
	関口誠一郎
	矢島美由貴
	翠川 清子
	佐田 芽衣 (兼務)
	豊永多鶴子 (兼務)
医療	櫻井亜津美

## 11 つつじ

管理者	松井 良伸
スタッフ	本多 未郷
	高岡恵美子
	炭谷さつ子
	横沢 明子
	小林 彰 (兼務)

## 12 ミライエ

管理者	小林 彰 (兼務)
主任	和久井翔太
児童発達支援管理責任者	北沢 成美
スタッフ	高木かおり
	小平 竜靖
	小市 弥生
	滝沢めぐみ
	日置 栄子 (兼務)

## 13 SHAKE (シェイク)

管理者	黒岩 芳広
スタッフ	東山 史江
	新津 大介 (出向)
	松井 絢子 (出向)

## 新任職員紹介



山本楓雅



東方恭祐



菊池涼太

# スタッフリレー通信 10



うちほりゅう や  
●内堀裕也さん

所属 ● さなの杜 勤務年数 ● 9 年目  
職種 ● 生活支援員 勤務時間 ● 変則勤務

## Q1. かりがね福祉会の職員になって感じた印象や今の職場の様子を教えてください

スタッフが優しく、相談がしやすい。ご利用者様の特性が多岐に渡るが、そういった特性に関係なく共同生活している所は他ではあまり見ない体制だと感じます。また支援上の問題提起についてなど、どのスタッフとも気兼ねなく話がしやすいなど職場の空気感も良いなと思います。

## Q2. 日々の疲れや辛さを癒すものは何ですか？ (408 号より質問)

家で寝転がって動画鑑賞が一番リラックスできます。家でも仕事のことを考えてしまいそうな時のオンオフの切り替えにもなっています。動画を観て気持ちがオフになったところでお風呂に入るのが一番癒しだな、と感じます。

## Q3. 座右の銘を教えてください。 (408 号より質問)

やると決めたら、誰よりもやる。

## Q4. 次回スタッフリレーの職員に聞いてみたいことは？

今までに影響を受けた言葉は？ 人生で頭にずっと残っている風景は？

## ● 次回のスタッフリレーのボタンをお願いします！

⇒ OIDEYO ハウスのどなたかにお願いしたいです。



たかとおゆう  
●高遠勇さん

所属 ● ライフステージかりがね 勤務年数 ● 5 年目  
職種 ● 生活支援員 勤務時間 ● 変則勤務

## Q1. かりがね福祉会の職員になって感じた印象や今の職場の様子を教えてください

にぎやかですね。担当愛が強く、個性的でユーモアに富んだ先輩方も多く明るく楽しい職場だと思います。

## Q2. 日々の疲れや辛さを癒すものは何ですか？ (408 号より質問)

そんなものはありません！気合で乗り切ります！

## Q3. 今後かりがね福祉会でやってみたいことは？ (研修、イベント、企画など)

皆さん美味しい物は好きだと思います。ライフステージかりがねの駐車場にキッチンカーを何台も呼んで、お祭り気分を味わいたいですね。昨年度は地域交流委員会に所属しており、アフターコロナと言われる昨今地域の皆様との交流、そしてご利用者様とご家族様との交流の場にも目を向ける機会がありました。残念ながら今年度は委員会を離れてしまいましたが、非日常感を味わえるようなイベントがあれば微力ながら力添えできればと思います。

## Q4. 次回スタッフリレーの職員に聞いてみたいことは？

法人の理念に“幸せ”とありますが、幸せを感じる瞬間はありますか？

## ● 次回のスタッフリレーのボタンをお願いします！

⇒ 事務局のどなたかにお願いしたいです。



## 感謝録

皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

※敬称略させていただきます  
2025年1月1日～2025年3月31日

## 寄贈物品

佐々木良子 青木和男 高寺陽子 内田 岡崎五月  
みかん 新聞紙 パソコン 色鉛筆 他 多数

## 2024年度運営会員ご入会者

■長野県 秋山京子 新津大介 東山史江 黒岩芳広  
久保田哲 清水健人 吉田美咲 小林彰 渡辺早紀 倉島佑介  
川手尚孝 塚田弘人 半田正直 堀内みな美 古平卓郎  
小田切玄和 佐田芽衣 伴野慶 塩崎都衣 豊永多鶴子  
関口誠一郎 矢島美由貴 翠川清子 関谷浩行 太田恵里奈  
阿部達也 田矢佳央里 坂口かりん 垂見美雪 菊地剛  
清水真紀子 堀内文康 加藤美奈 若林光莉 高遠勇  
堀内幸広 高寺稔 高岡恵美子 松井良伸 本多未郷  
炭谷さつ子 横沢明子 坪田理 小松有加里 荻原恒平  
脇田加奈恵 的場真 樋沢早帆美 青木妙子 齊藤絢美  
石巻愛莉 唐沢智衣 秋山久美子 荻原美代子 大久保文子  
内堀聡 小林厚生 江口文子 工藤淳 奈良司 高寺裕也  
田矢雄介 市村友一 小林優太 唐沢郁哉 安田剛 森島優典  
林明德 河原孝幸 金沢綾 高井諒 山崎春香 中島花菜子  
出浦友里 久保雅信 堀内敬祐 北澤葉 堀内倫佳

長谷川亜由美 高橋輝男 平林はるか 丸山貞子 大川恵美子  
小林あかり 春原浩二 山浦貴志 福原なみ子 川又亮太  
中村智絵 石坂千春 岡崎慎一 佐竹明 苦米地優介  
坪田ゆか 吉橋梨々花 島崎野乃華 北澤栄子 山崎まゆみ  
尾崎としえ 小室彰子 飯島理佳 佐々木良子 望月祐子  
竹井達郎 小林治藏 小林由子 佐々木崇 飯塚英毅  
和久井翔太 北沢成美 高木かおり 小市弥生 日置栄子  
滝沢めぐみ 北澤雄司 米持健二 粕谷和子

■東京都 女子学院 ■千葉県 小林茂

2024年度運営会費納入金額  
(2024年4月1日～2025年3月31日)

	会員数(名)	会費(円)
長野県	350	1,268,500
北海道	4	16,000
東北地方	2	11,000
関東地方	32	338,000
中部地方	4	57,000
北陸地方	1	3,000
近畿地方	3	17,000
中国地方	0	0
四国地方	0	0
九州地方	0	0
合計	396	1,710,500

【訂正とお詫び】 408号(春号)「寄贈物品」にご協力いただきました方のお名前に誤りがありました。  
ここに訂正してお詫び申し上げます。誤) 高寺洋子  
正) 高寺陽子

## 編集後記

「ママのお仕事ってなーに?」と子ども達から聞かれ、「ご利用者様と一緒に運動したり、やりたい事のちょっとしたお手伝いをするんだよ!」と、風の工房で働いていることについて話しました。そしたら「お仕事場に行ってみたい。」という気持ちになったようで、休みの日に一緒に展示会にでかけワークショップを体験したり、風の工房の建物を見に行ったりしました。私

の働く場所をみて、こんなところなんだと感じ、応援してくれます。

今年度、機関誌編集委員長を務めさせていただきます。委員の皆様と協力し、機関誌を通して「かりがね福祉会の今!」をお伝えしていきます。ママの大事な役割が増えました。自信を持って楽しくやっていきたいと思います。

(風の工房:堀内)

運営会員  
ご加入のお願い

かりがね福祉会は皆様のご支援によって支えられています。会費は法人各施設の設備や備品の充実等のために使われます。また、会員の方には年4回機関誌等を送付しています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。専用振込用紙のお取り寄せ、その他お問い合わせは法人本部までお願い致します。

## 年会費

1口 1,000円(何口でも結構です)

## 期間

1年単位(ご入会より1年間)

## ご入会方法

●ゆうちょ銀行 [00550-3-8487]

名義「社会福祉法人 かりがね福祉会」

●上田信用金庫 真田支店 [普通預金:95578]

名義「社会福祉法人 かりがね福祉会 理事 小林 彰」

## 社会福祉法人 かりがね福祉会

URL <https://karigane.or.jp>

## ■法人本部/ライフステージかりがね

- つつじ
- 共同生活サポートセンター
- さなだの社
- 在宅支援センターえ〜る
- 風の工房
- OIDEYO ハウス
- OIDEYO ハウス(分場)
- アトリエ Fuu
- ミライエ

〒386-2201 長野県上田市真田町長 6430-1 TEL.0268-72-3431 FAX.0268-72-4406  
〒386-2201 長野県上田市真田町長 7166-8 TEL.0268-75-5431 FAX.0268-75-5434  
〒386-2202 長野県上田市真田町本原 531-1 (よつばのいえ内) TEL/FAX.0268-72-2434  
〒386-2201 長野県上田市真田町長 6430-1 TEL/FAX.0268-72-0133  
〒386-2201 長野県上田市真田町長 6430-1 TEL/FAX.0268-72-8022  
〒386-2201 長野県上田市真田町長 2464-1 TEL/FAX.0268-72-2151  
〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 8551-2 TEL/FAX.0268-73-0005  
〒386-2202 長野県上田市真田町本原 1491 TEL/FAX.0268-72-5067  
〒386-2202 長野県上田市真田町本原 531-2 TEL/FAX.0268-72-1061  
〒386-2201 長野県上田市真田町長 7166-8 TEL/FAX.0268-71-7810



会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしております。「機関誌編集委員会」までお寄せ下さい。

<https://ws.formzu.net/sfgen/S311362702/>